

高山国道事務所管内除雪出発式 我らがまもる 平成最後の飛驒の冬



今後の飛驒地域の豪雪に備え、冬季の円滑な道路交通の確保や、安全な除雪作業を実施するため、10月30日に清見除雪センターにて除雪出発式を行いました。
出発式では、除雪作業受注業者が除雪作業の安全宣言を行い、関係機関・除雪業者及び職員が一致団結し、意識高揚を図りました。

主催者及び来賓挨拶



中部地方整備局長
勢田局長（主催者）

今年は災害が多く、この飛驒においても、7月豪雨で大きな被害が出て、その傷跡が残っている状況です。しかし、迫り来る厳しい冬は待つてくれません。

中部地方整備局では、飛驒地域を訪れられる内外の方々、住民の方々が安心して暮らせますよう今年度も精一杯除雪に取り組みます。



高山市
國島市長（来賓）

夏の災害により、道路がいかに他地域と繋がっていたのかを痛切に感じました。

飛驒地域の皆様が安心して、年末年始、そして、新たな春を迎えられるように、これまでの経験を活かして、交通の安全と生活を守っていただきたいと思います。



高山警察署
熊崎署長（来賓）

凍結等の防止、そして、事故の防止に対する地元の方々の期待は、大変、大きなものがあります。

凍結や降雪時の交通規制は、二次被害や交通麻痺を防ぐために迅速な判断が必要となるので、関係者で連携して、交通規制を行いたいです。

除雪作業受注業者による安全宣言

高山国道管内の除雪作業受注業者（金子工業株式会社・坂本土木株式会社・日産工業株式会社）を代表して、金子工業株式会社が除雪作業を安全に行うことを誓いました。



除雪機械の安全点検



変形・破損などが無いか、灯火類は点灯するか、除雪装置は問題なく稼働するかの確認を行いました。2人1組になり、安全確認を行うことが、安全な除雪作業につながります。



除雪機械出発

除雪機械の動作確認のため、試用運転を行いました。

実際に清見除雪センターを出発し、運転中に異常が発生しないかを確認しました。



除雪作業へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

道路をご利用の際は、**早めの冬装備**をしていただき、**大雪時には、不要不急の外出は控えて**いただくようよろしくお願いいたします。



第9回目は飛騨市観光協会の池田会長にインタビューを行いました。

「ロコミと女性がつくるムーブメントへの対応が必要」

- ・飛騨市に限った話ではないが、観光を取り巻く環境は以前と大きく変わったし、今後も変わってくる部分が多くあると思っている。
- ・欧州型の長期間、ゆったり楽しむ旅行がより一般的になってくるのではないかと、またその一環として一回だけの物見遊山からリピーターが増えてくるのではないかと感じている。こういった流れを意識する必要があるし、大きな変化として「ロコミ」が観光に与える影響が非常に大きくなっている。
- ・その様な流れの中で、ロコミや長期滞在につながる、ここ飛騨市でしか得られないものの提供、他の地域との「差別化」と見るだけではない「体験」が必要と考えている。しかしながら、特色を活かして差別化を図り、魅力的なアクティビティを提供しても、長期滞在する拠点からの移動手段がなければ活かされない。
- ・例えば、飛騨市神岡町のガッタンゴローは差別化されかつ体験型の代表的なものであり、また飛騨市と白川村の境にある天生（あもう）湿原もすばらしい場所であり今後体験型の提供が期待される地域である。こういった地域に対して、バスなどによる移動手段の提供が必要不可欠であり、今後これらの充実が地域の取り組みと合わせ重要である。
- ・更に別の視点としては、一昔前と異なり女性の社会進出が当たり前となる中で、観光面でも女性の意思決定の影響が大きくなっていると感じている。
- ・女性に受け入れられないもの、女性に喜ばれないものはなかなか継続することが難しい。交通環境についても女性目線で、女性が運転しやすい、利用しやすい環境を提供していくことが重要ではないだろうか。
- ・その点、昔に比べると良くなっている部分はあるが、雨が降ると運転が怖いところもある。JR高山線も災害に弱く、H16年の災害の時にも大きな被害を受けて長期間運行できない状況にあった※。北陸方面とのつながりはJR高山線と国道41号だけであり、災害に強い道路は必要と感じている。（※インタビューはH30.7の豪雨災害の前に実施）
- ・また、長時間の運転も、道が良くなれば平気で行けるようになる。今の時代女性でも、高速を利用して東京まで問題なく運転している。40年前に自分が行き来していた頃、岐阜市までの道程は4時間かかっていたが、今や1時間半。女性にも利用しやすくなったこの環境は、しっかり活かしていくことが必要。
- ・一方で、北陸方面について、神岡町は富山とのつながりが強いにもかかわらず、岐阜方面に比較して道路の状況は十分ではないと感じており、今後の改善に期待するところが大きく頑張ってもらいたい。



飛騨市観光協会
池田会長



国道41号石浦バイパス 宮峠トンネル

トンネル工事現場で見学会・課外授業を行いました

①一之宮町東町内会 工事見学会

10月21日（日）トンネル坑口付近にお住まいの**高山市一之宮町の東町内会**の皆様（75名）が宮峠トンネルの工事現場を見学されました。

一之宮側の坑口から徒歩でトンネル内へ移動



お子様からお年寄りの方まで、たくさんの方にお越しただいて本当にありがとうございました。少し肌寒い日でしたが、朝から天気良かったのでホッとしました。

トンネル内で事業や工事内容を説明



工事で作ったコンクリート面をスクリーンにして事業や工事について説明しました。トンネル工事における各作業の詳細については、工事業者が作成した動画を見てもらいました。

<地元の皆様への感謝とお礼>

トンネル工事は一之宮側から出入りして工事を行っている都合上、トンネル掘削の発破や工事車両の通行などで、当地域の皆様には大変なご迷惑をお掛けしております。

トンネルだけでなくその他の工事も含めて、地域に配慮しながら今後も工事を進めて参りますので、引き続きご協力の程よろしくお願ひします。

②宮小学校6年生 課外授業

11月1日(木) 宮小学校の6年生(20名)の皆様に、トンネル工事現場で実際に現れた地層を題材とした理科の課外授業を行いました。

宮小学校の先生からのご提案を受けて、初めて地層に関する課外授業に取り組んでみました。



一之宮側坑口から徒歩でトンネル内へ移動

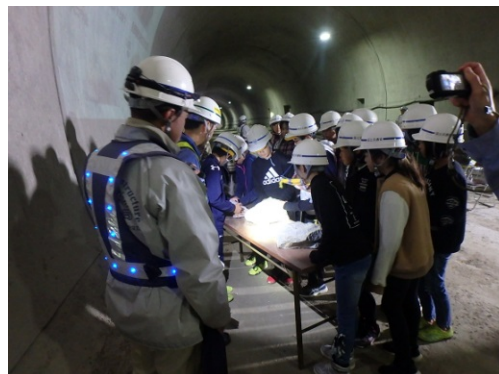


トンネルの大きさに驚いてもらいながら、授業を行う場所まで歩いて移動しました。

トンネル内にて授業を実施



工事で現れた地層などについて説明



工事で出た岩片を幾つか間近で見てもらいました



<おじさん達の感想>

暗いトンネルの中で一生懸命メモをとったり、最後に行った質問コーナーでたくさんの質問をもらったりして、皆さんの前向きな姿勢に正直驚きました。

皆さんの地元で作ったトンネルなので、今日のことが何かしら記憶の片隅に残ってくれたらとても嬉しいです。

おじさん達も初心に戻って頑張ります。



<参考> 宮峠トンネル事業については下記URLをご参照願います。

高山国道事務所HP <http://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/gaiyou/miyatouge.html>

飛騨高山高校の3年生生徒による大型水生植物間引き作業 ～高山西ICビオトープ“飛騨の森再生”における環境学習～

平成30年11月7日(水)に飛騨高山高校環境科学科3年生32名が参加して、ビオトープ内調整池において大型水生植物の間引き作業を行いました。

ビオトープ内調整池の植生も発達してきましたが、一部の大型水生植物(ミクリ)の繁殖が著しく、水面全体を覆うほどになっており開放的な水面が減少しています。そのため開放的な水面を好む昆虫などが生息できなくなる恐れがでてきました。

今回の学習では、調整池東側の比較的水深が浅いエリアにおいてミクリの間引き作業を実施しました。これにより光が当たる開けた水面環境を創出し、明るい水面環境を好む昆虫類や小型植物が生息する環境が生成されました。



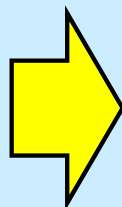
【ミクリの間引き作業状況】



【間引きしたミクリ】



【作業前】



【作業後】

また、樹林ゾーンやビオトープの外から、風や鳥などにより草地ゾーンに種子が飛来するなどして定着した樹木があり、このまま放置しておくと草地ゾーンが樹林化してしまう恐れがでてきました。そのためヤマザクラ、カラコギカエデなど6種14本の樹木を、草地ゾーンから樹林ゾーンへ移植しました。これにより、草地ゾーンの樹林化抑制が期待されます。



【樹木の掘り取り作業】



【樹木の植え替え作業】



【移植した樹木】

飛騨地域自治体職員を対象に橋梁点検講習会を開催

～自治体が管理している橋梁で実施～

道路施設の老朽化が大きな課題となってきたなかで、地方公共団体は、予算、人員、技術面で多くの課題を抱えています。

このため、岐阜県道路メンテナンス会議では、自治体職員による道路施設のメンテナンス技術の向上を目的として、講習会を実施しました。

- ◆日 時 : 平成30年11月7日(水) 10:00～15:00
- ◆場 所 : 岐阜県大野郡白川村
白川村総合文化交流施設(道の駅白川郷)・馬狩2号橋
- ◆参加者 : 高山市(1名)・飛騨市(3名)・白川村(4名)・高山土木事務所(2名)
下呂土木事務所(1名)・中日本高速道路(株)(2名)・国土交通省



座学の様子



現地での説明の様子



点検の様子



点検の様子

走行時のフロントガラスの「くもり」 にご注意を！！

雨の日や寒い日にトンネルを走行すると、急にフロントガラスやヘルメットのシールド等が「くもる」場合があります。

これは、走行中に冷えたフロントガラスやヘルメットのシールド等が、トンネル内の暖かい空気に触れることによって生じる結露と考えられます。

<運転の際の注意点>

○お車の場合

慌てずにワイパーでくもりをとり、エアコン(デフロスタ)や側面窓ガラスを開けるなど外気との温度差を小さくすることで、くもりは徐々になくなります。

○自動二輪車の場合

トンネル進入時は安全な速度と余裕ある車間距離の確保をお願いします。また、走行前に市販されている「くもり止め剤」をシールド部分に塗っておくことをお勧めします。

冬の飛騨路は、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なります。
通行時は、車間距離を十分とって慎重な運転を心がけて下さい。



「冬のドライブなび中部」のご紹介

「冬のドライブなび中部」では各種の道路情報を発信中！！

降雪状況、路面状態、気象情報などお出かけ前にチェック!!

冬の飛騨路を安全・関心・快適なドライブを！！

ニーズに応じて各種情報を確認して下さい

①道路規制情報 ②地域別道路情報 ③ライブカメラ映像

・飛騨地域、美濃地域、1号鈴鹿峠、名阪国道、富士山周辺、御殿場周辺、長野県南部地域

④積雪・凍結情報 ⑤気象情報 ⑥冬装備の備え ⑦雪道の運転テクニック

<http://www.cbr.mlit.go.jp/road/fuyumichi.html>

ブックマークしておくとお便利です!

運転中の携帯電話の利用はお控え下さい(運転中に携帯電話を手で保持しての使用は法令違反です)



※インターネットで「冬のドライブなび中部」で検索していただければご利用できます。